

No. 294 2019 年 10 月 9 日

□■感染症情報(2019 年第 39 週) □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

●トピックス

◆インフルエンザについて

銚田保健所管内において、1 定点あたり第 38 週及び第 39 週について報告はありませんでした。

県において、1 定点あたり第 38 週 0.38 (国 1.17) , 第 39 週 0.59 (国 0.55) とやや増加しています。保健所別にみると、竜ヶ崎 (1.29), 土浦 (1.77) と、流行開始の目安である 1 定点当たり患者報告吸う 1.00 を上回っており、特に多い状況です。

また、県内において、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等措置・集団発生等がありましたので、注意が必要です。

<集団発生の報告基準>

各社会福祉施設内において、最初のインフルエンザ様症状の患者発生後 7 日以内に、その者を含め 10 名以上の患者が集団発生した場合に、管轄の保健所に報告することになっています。

【インフルエンザ流行情報 (県)】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/2019-2020.html>

【インフルエンザとは (国立感染症研究所)】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>

【インフルエンザ Q&A (厚生労働省)】

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

◆県内における風しんの発生について

銚田保健所管内では、第 38 週及び第 39 週の報告はありませんでした。

県において、第 38 週の報告はなく、第 39 週 1 件（海外渡航歴あり）の報告がありました。

予防接種を 2 回受けていない方や予防接種歴が不明な方で、発熱、発疹等風しんを疑う症状が現れた場合は、周囲への感染を防ぐために、必ず事前に医療機関に電話連絡でその旨を伝え、医療機関の指示に従って受診しましょう。

また、妊娠 20 週頃までの妊婦が風しんに感染すると、胎児に白内障、先天性心疾患、難聴等の症状（先天性風しん症候群）が生じることがありますので、風しんにかかっている可能性のある人との接触は可能な限り避けるとともに、心配な方は、最よりの保健所やかかりつけの産婦人科医に相談してください。

【風しんの流行にご注意ください（県）】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/kuushin/201808kuushin.html>

【医療機関における風しん対策ガイドライン（H26 年 4 月 3 日）国立感染症研究所】

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/kannrenn/iryoukikann-taisaku.pdf>

【風しんについて（厚生労働省）】

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

【風しんとは（国立感染症研究所）】

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>

【職場における風しん対策ガイドライン（H26 年 3 月）

国立感染症研究所，厚生労働省】

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/rubella/kannrenn/syokuba-taisaku.pdf>

【風しん（届出基準）】※診断された場合は、ただちに届出をお願いします。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11>

/01-05-14-02.html

【風しん発生届】

※臨床診断例については、検査結果等を総合的に勘案し、風しんでないと判断された場合は、届出の取り下げ等にご協力いただきますようお願いいたします。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf>

/01-05-14-02.pdf

◆国内におけるデング出血熱患者の発生について（R元年9月20日）

R元年9月18日に沖縄県那覇市内在住の70歳代女性のデング熱の患者が確認されました。

調査の結果、海外渡航歴はあるものの、居住地周辺でデングウイルスに感染したことも否定できないと推定されました。

関係者の皆様においては、「蚊に刺されない」「蚊を増やさない」対策の徹底をお願いします。

原因：デングウイルス

感染経路：蚊→人→人で感染する。

潜伏期間：2～14日（通常3～7日）

症状：①感染しても発症するのは20～50%程度で約半数は無症状。

②38～40℃の発熱で発症し、頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹が現れます。

③通常は軽症で、1週間程度で回復しますが、まれに重要化し、出血傾向やショック症状を定数することがあります。

予防対策：①蚊に刺されないように工夫しましょう。

（長袖、長ズボンの着用、虫除けスプレーの使用、蚊あ屋内に侵入しないよう網戸の使用）

②蚊を発生させないようにしましょう。

蚊の防除の基本は、幼虫（ボウフラ）の発生源対策です。
蚊が発生する水たまりをなくす環境づくりを心がけ
ましょう。

【デング熱の国内感染が疑われる症例の発生について（国）R元年9月20日】
<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/tsuuchi/documents/20190920-tuuchi.pdf>

【那覇市プレスリリース R元年9月20日】
<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/information/tsuuchi/documents/20190920-naha-press.pdf>

●感染症サーベイランス情報

【県内の保健所別報告数】（2019年第39週 9月23日～9月29日）
（2019年第39週までの報告数累計）

結核	1件（ひたちなか）	県	380件，	全国	15727件
腸管出血性大腸菌感染症	2件（水戸，常総）	県	82件，	全国	2757件
レジオネラ症	2件（潮来，土浦）	県	48件，	全国	1728件
ウイルス性肝炎	1件（つくば） （E型・A型肝炎を除く）	県	1件，	全国	248件
急性脳炎	1件（つくば）	県	30件，	全国	666件
侵襲性肺炎球菌感染症	1件（水戸）	県	38件，	全国	2416件
藩種性クリプトコッカス症	1件（つくば）	県	4件，	全国	106件
百日咳	8件（鉾田0件，他8件）	県	350件，	全国	12787件
風しん	1件（竜ヶ崎）	県	20件，	全国	2196件

メールの内容についてのお問

い合わせは下記までお願いします。 茨城県鉾田保健所 健康指導課

E-Mail : hokoho03@pref.ibaraki.lg.jp [TEL:0291-33-2158](tel:0291-33-2158)

*****鹿行地域感染等

対策ネットワーク*****

【事務局】

土浦協同病院		なめがた地域医療センター		茨城県鉾田
保健所		〒311-3516		〒
311-1517		行方市井上藤井 98-8		鉾田市鉾田 1367-3
		TEL:0299-56-0600		TEL:0291-33-2158
FAX:0299-37-4111		FAX:0291-33-3136		
